

鹿児島工業高等学校



High school News

ROKKO

校訓

誠 創 精
実 造 進

第74回

熱き心に日を灯し 燃やせ鹿工魂
大運動会 10月9日



10月9日(土), 第74回大運動会が開催されました。櫓・櫓装飾の設置や1日開催等通常開催を目指していましたが, 新型コロナウイルス感染拡大の影響により, 日程・計画を変更することとなりました。

異例の残暑が続く中, 「熱き心に日を灯し 燃やせ鹿工魂」のテーマの下, 今年も熱い戦いが繰り広げられました。競技の部は, 重量運搬を全学年制した黄団が2年ぶり, 応援の部と共に優勝となりました。女子の部は3年生が逆転での3年連続優勝, 工業杯

は白団が2連覇を達成, また, 1500m走では嶽野智博さん(白団, 電気技術系3年)が4分16秒18の新記録樹立, 本校初の女性団長(栗屋杏吏さん緑団, 工業科学系3年)の誕生など様々なドラマがありました。

コロナ禍の中でも, 団の威信をかけて戦う真剣勝負は感動を呼び, これからも「大運動会」の伝統は引き継がれていきます。各方面のご協力ありがとうございました。

高校生ものづくりコンテスト九州大会に参加して

旋盤作業

電子機械系2年1組
米倉 翼(緑丘中)

大会と同じ旋盤が薩摩中央高校にしかなく1時間かけて10日ほど通い、練習をさせてもらいました。期末テストの時期と重なり大変でしたが、先生方の指導や親のサポート、機械部の仲間の応援があり、九州大会に出場できたことに感謝します。大会本番では作業工程を間違えてしまい悔しさと反省で頭がいっぱいになりました。入賞することができませんでしたが鹿児島県大会では本校が5年連続優勝したことで後輩へ繋げることができたと思います。私は全国大会に出場することはできませんでしたが、今後は技能検定の2級取得に向け練習をしていこうと思っています。



化学分析

工業化学系3年
栗屋 杏吏(清水中)

ものづくりコンテスト九州大会は、県大会以降、中々練習ができず、実験感覚等が戻らなくて、厳しい大会になりました。大会前日、準備と打ち合わせがあり、他県の参加者が素早く質問していく姿に圧倒され、このときから緊張してしまいました。

当日は朝早く起き、友人からの手紙を読み緊張を和らげ大会に挑み、今まで練習したから大丈夫だろうと緊張をほぐしました。大会ではたくさんの失敗もしましたが、ゆっくり丁寧な操作や、今まで練習したことをしっかり行うことができ、よい経験ができたのでとても満足しています。入賞できませんでしたが、自分で納得することができた事に感謝です。

今後は、後輩たちにしっかりと操作方法などを教え、九州大会入賞を託したいと思います。



木材加工

建築系3年
田畑 有紀子(武中)

私は建築部に所属しており、毎朝7時半からの刃物の研ぎ、台仕込みや原寸図練習に始まり、放課後は苦手だった鉋削りや墨付けの反復練習に取り組んできました。本番では、自分のできる精一杯の力を発揮することができましたが、入賞には届きませんでした。

しかし来年を見据え、後輩の寺田君が大会の雰囲気や他県の選手の技術・技能を見る良い機会をつくることができ、先輩として建築部の伝統を残すことができたと思います。

今後も鹿工から九州・全国大会に出場する後輩が育ってほしいと思います。



測量

建設技術系3年
西 絢太(西陵中)

私は、「高校生ものづくりコンテスト九州大会(測量部門)」に出場しました。昨年は、コロナの影響で九州大会は開催されなかったため、今年度は九州大会出場を目標に練習に取り組みました。県大会で最優秀賞を取って目標であった九州大会に出場しました。大会当日まで毎日練習に取り組み、仲間と工夫すべき所を話し合ったり、顧問の先生に相談などをして万全の状態で開催に臨みました。大会では緊張しましたが、内業・外業とも練習の成果を発揮でき、優秀賞を取ることができました。この賞は周囲の方々の支えがなければ、いただくことができなかったと思い、とても感謝しています。これからも周囲の方々への感謝の気持ちを大切にし、活動を通して学んだことを活かしていきたいと思っています。



家具・工芸

インテリア系3年 山下 友夢(喜入中)

私は今回、「高校生ものづくりコンテスト九州大会」に出場させて頂きました。県大会の反省を基に、本番まで試行錯誤を重ね、精度を高めるとともに時間短縮に努めました。作業に無駄がでないよう作業手順や道具の配置を考えました。当日は作業台や作業場所が練習と異なったため、県大会とはまた別の緊張感がありました。しかし、今まで練習してきたことを思い出し、落ち着いて作業をすることができ、時間に余裕を持って作品を作り終えることができました。これまで支えてくださった先生方や家族のお陰で優良賞を頂くことができました。本当に感謝しています。

この経験は、私にとって大きな成長と自信を与えてくれました。これからもいろんなことに挑戦し自分の自信に変えていきたいです。



全国高等学校ロボット競技大会県予選

私たち機械部は、8月6日(金)に隼工業高校の体育館で行われた県高等学校ロボット競技大会に出場しました。昨年度は全国大会が中止になり、県大会もオンラインでの開催になりましたが、今年度は会場への入場制限や検温など新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの実施でした。本校からは2チーム出場し、そのうちの1チームが全体の4位で敢闘賞を受賞することができました。全国大会出場は叶いませんでしたが、全部員が一丸となってロボットを作り上げる中で、それぞれが新しい機構の製作や自立型ロボットのプログラミングに挑戦するなど、ものづくりの楽しさや奥深さを知る貴重な経験ができました。

電子機械系3年2組 大野大樹(坂元中)



ジュニアマイスター顕彰

ジュニアマイスター顕彰制度とは、工業高校の生徒が専門的な知識を身に付けそれを積極的に評価する制度です。今年度の前期申請では、ゴールド14名、シルバー46名、ブロンズ63名、合計123名が認定されました。

インテリア系3年 山下 友夢(喜入中)

私は資格取得にあたり、途中で挫折そうになった事もありましたが、先生方や家族の支え、協力のおかげで頑張ることができ、ゴールドまで取得する事ができました。自分のめざす目標のためにこれからも難関資格に挑戦、取得し多くの知識や技術を身に付けていきたいと思っています。



インターハイ、全国・九州大会を振り返って

弓道部

建築系2年 小田口 里穂 (郡山中)

私は全国高校総体に個人と団体の選手として出場しました。個人戦の結果は2中で、あと1本中でられず予選通過をすることができませんでした。また段々と足と手が震え、堂々と自分らしく引くことができませんでした。その悔しさをバネにして、次の日の団体予選に挑みました。結果は団体12中で私は個人戦で果たせなかった皆中をすることができ、ギリギリ予選通過をすることができました。そして一回戦、私達の武器である勝負強さを出せず12中対13中で1回戦敗退をしました。とても悔しい結果になりましたが、この経験を次の全国大会に向けて活かし、これからも練習に一生懸命取り組んでいきます。そして次こそ全国大会の借りを返し、全国制覇の夢を叶えていこうと思います。

このような経験をする事ができたのは、指導してくださる先生方、保護者の方々、周りの方々のご協力があったからです。ありがとうございました。常に感謝の気持ちを忘れずに、一日一日大切に練習をしていきたいと思ひます。



卓球部

電子機械系3年1組 徳重 聡 (帖佐中)

私たちは、8月12日(休)から17日(火)まで富山県富山市で開催された全国高校総体卓球競技に、シングルスで徳重、ダブルスで橋口・篠原ペアが出場しました。シングルス、ダブルスとも初戦敗退でした。緊張で自分達の思い通りのプレーはできませんでした。全国大会という大きな舞台で試合をすることができて、本当に良い経験になりました。このような経験ができたのも、いつも応援して下さる方々のおかげだと思います。これから精進していきますので、御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願いします。

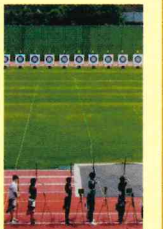


アーチェリー部

電気技術系2年1組 満塩 健太 (紫原中)

私たちは8月20日(金)・21日(土)に福井県で行われたインターハイに出場しました。大会前はコロナ禍での活動だったため、アルコール消毒やマスク着用、体調管理を心掛け練習を重ね、万全の状態で大大会に臨みました。

しかし、会場に着き、試合までの時間が少なくなると緊張が高まり自分の力を発揮できるか不安な気持ちでいっぱいでした。結果は予選落ちと残念な結果になりました。今後コロナがどうなるかはわかりませんが、今の状態が落ち着けば来年もインターハイが行われると思うので、新たな目標を持って日々の練習を頑張っていきたいです。応援していただきありがとうございました。



剣道部

建築系3年 中島 葵 (鹿屋東中)

私は全国高校総体に出場したことをきっかけに、多くの方々に応援していただき、支えられて今の自分があるのだということを改めて実感することができました。熱心に稽古をつけてくださった先生方や暖かく見守り支えてくださった保護者の方々、OBの先輩方、そして、辛いときも苦しいときも一緒に戦ってきた仲間や後輩たち。多くの方々のおかげで全国高校総体という晴れ舞台で試合をすることができました。本当に感謝しています。全国で試合ができたことを誇りに思い、感謝の気持ちを忘れずに残りの高校生活はもちろん、これからの日々を歩んでいきたいと思ひます。



陸上部

インテリア系2年 下池 将多郎 (東市来中)

私は、今年の4月に始めた競歩で、7月に行われた全国高等学校陸上競技大会に出場しました。南九州大会では、まだ競技歴が浅いため、気楽にいいこうと思って臨みました。集中してレースを組み立てましたが、思い通りのレースができず2位という結果で終わりました。全国大会では、まず、予選では決勝に残ることを目標にレースの初めから先頭集団についていきました。終始疲労感がなく、ラストでペースを一気に上げたら、予選1位で通過することができました。決勝では、予選と同様に初めから積極的に前に出て、ペースが上がった時も粘ってつくことができました。しかし、ラスト1キロの勝負を考えスパートをかけましたが、周りの選手を引きはなすことができず3位入賞という結果でした。私は、格上の選手とレースができた事を今後のレースにも生かして、来年はインターハイと国体での二冠達成を目標に練習を重ねていきたいと思ひます。応援よろしくお願いします。



放送部

インテリア系2年 吉崎 利嘉子 (吉野中)

今回 NHK 杯放送コンテストは史上初のリモート大会でした。東京に行けず残念でしたが、決勝の様子を部員全員で見られたことは僥倖でした。普段なら全国からの限られた参加者しか観られないこの大会。アナウンス・朗読部門と番組部門、どちらもレベルが高く、舌を巻きました。私たちがエントリーした番組は悔しくも決勝進出を逃しましたが、鹿児島から番組三点がエントリーされており、可能性はあると感じています。

私個人は、特にアナウンス部門に注目しました。ハイレベルの、自分の目指す読みが披露されていて奮起させられました。来年は決勝進出を目指し頑張ります。



ソフトボール部

建設技術系3年 中森 凌馬 (吉野東中)

私たちは、県高校総体の決勝で敗れインターハイ出場は叶いませんでした。この悔しさを胸に、このメンバーでできる最後の公式戦を優勝するため今まで練習してきた事を出し切り楽しもうと九州総体に臨みました。1回戦大分県1位の日田林工にコールド勝ち、2回戦福岡県1位の九州産業大学附属九州高校に1対0と勝利し準決勝で長崎県1位の大村工業と対戦しました。競った試合展開になりましたが0対1のサヨナラ負けという結果になってしまいました。

有終の美を飾る事はできませんでしたが、その後行われたインターハイで全国制覇した大村工業と好ゲームをできた事、またコロナ禍の中、たくさんの方々のご協力があり大会に出場できたことに感謝致します。今後もかわらぬご支援宜しくお願い致します。



ボクシング部

電子機械系3年1組 假屋 秀真 (坂元中)

6月25日から27日まで開催された第75回全九州高等学校ボクシング競技大会に出場しました。大会へは3年生2名が出場しました。初めての九州大会でしたが、自分たちが3年間頑張った全てを出し切り、これまでに無い経験をする事ができました。3年間を振り返ると部員が少ない中でも、お互いを支えながら切磋琢磨し、練習を頑張ってきました。今回私たちが九州大会へ出場できたことは、今年は8名入部した後輩たちにも良い刺激になったと思います。これまでたくさんの方々に支えられてきたので、これからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいと思ひます。今後のボクシング部の活動にも応援を宜しくお願いします。



進路状況中間報告

進路指導部

今年度の求人は、8月中旬の時点で、昨年度の全求人件数を上回り、9月末現在で2731件となりました。特に、県内企業が好調で、過去20年で最も多かった令和元年度を上回る633件の求人がありました。業種では建設業が昨年よりも増加し999件となり、次いで製造業の585件となっています。コロナ禍ということもあり、厳しい状況が予想されましたが、各方面で活躍されている先輩方のおかげでたくさんの求人をいただいたと強く感じるところです。

3年生の進路状況については、就職希望が73.4%、進学希望が26.3%と、過去5年で進学希望の割合が最も多い結果となりました。進学も含めて、これから受験する生徒は、自分の進路実現に向けて、「絶対に合格する」という強い気持ちで受験に取り組んで欲しいです。生徒の皆さんの健闘を祈ります。

【業種別の求人数】

9月30日現在

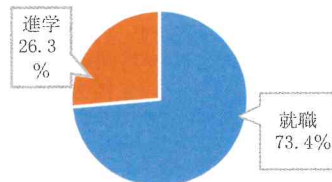
業種	R2	R3
建設業	890	999
製造業	558	585
電気・ガス・情報	81	73
運輸	272	249
卸売業・小売業	202	213
サービス業	174	209
その他	478	403

【過去3年間の求人数】

9月30日現在

年度	R元	R2	R3
県外	2,334	2,118	2,098
県内	575	537	633
合計	2,909	2,655	2,731

【就職と進学の割合】



小学生親子ものづくり学習会

本年度の「小学生親子ものづくり学習会」は8/19(木)をメインの実施日として、建築系のみ10日間開催する予定で計画されました。この学習会は、各系の特色を活かした7つのテーマを設定し、小学生の親子に対して、ものづくりの楽しさを体験して頂き、本校の魅力を伝えることを目的としています。

7/2(金)から募集を開始し、74組の申込みがありました。感染予防の観点から8/19(木)の実施は見送ることとなり、建築系の7/29(木)～8/7(土)までの8日間のみの開催となりました。

建築系は「椅子を作ろう」をテーマに各日学習会が実施されました。児童からは「少しの材料で椅子が作れてすごいと思った。」「簡単に楽しく作れた。」「保護者からは、「高校生が沢山教えてくれて、子どもがとても楽しんでいたので大満足の学習会でした。」「など、嬉しい感想をいただきました。

ものづくりを通して親子がふれあい、協力して1つの作品を完成させることができ、笑顔あふれる学習会となりました。

今年はその他の系の学習会を実施することができませんでしたが、これからも、鹿工の魅力発信の1つとして、工夫を凝らした学習会として継続していきたいと思っています。



中学生日帰り体験入学

8月3日(火)に中学生日帰り体験入学を開催しました。341人の中学生が、学校・各系紹介を受けた後、部活動体験・見学をしました。学校・各系紹介では、「初めて見るような教室や機械がたくさんあってワクワクした。」「校内で迷うこともあったけど、生徒の皆さんや先生方が丁寧に対応してくださったので、安心して体験できました。」など、本校の規模に驚きつつも期待をしている様子が伺えました。部活動体験・見学では、「先輩方の雰囲気も良く、活気があって、とても充実した体験ができた。」「ハードそうに見えたけど、『ドンマイ』など、お互いの声掛けがよかった。」など、部活動の雰囲気を肌で感じてもらえたようです。中には、「生徒一人一人が何か目標に向かって頑張っているような気がして、夢を実現できるような気がする。」と感想を書いてくれた中学生もいました。

また、8月26日(木)も開催予定でしたが、感染防止のため見送ることとなったため、参加予定だった中学生345人の在籍校へ学校紹介DVDを送付しました。

本校体験入学に参加を希望してくれた計686人の中学生が、鹿工への興味・関心を高め、進路選択の一つとして考えていただければ幸いです。



10・11月の 主な行事

10月18日(月)～20日(水) 中間考査
10月28日(木)～29日(金) 鹿工祭
11月9日(火)～11日(木) インターンシップ(2年)

11月15日(月)～19日(金) 自宅学習強化週間
11月17日(水) 工業クラブ連盟生徒発表大会
11月22日(月)～26日(金) 期末考査